

人を、想う力。街を、想う力。



報道関係各位

2020年12月21日

三菱地所株式会社

「ウッドデザイン賞 2020」を2プロジェクトが受賞

「CLT PARK HARUMI」が優秀賞（林野庁長官賞）を受賞

三菱地所株式会社（以下、当社）では、「CLT PARK HARUMI」「PARK WOOD office iwamotocho」の2プロジェクトが「ウッドデザイン賞 2020」を受賞しました。「CLT PARK HARUMI」は受賞作品191件より選出され、ライフスタイルデザイン部門にて「優秀賞（林野庁長官賞）」を受賞。昨年「最優秀賞（農林水産大臣賞）」を受賞した「PARK WOOD 高森」（日本初となる中高層木材ハイブリッド建築）に引き続き、2年連続での上位賞受賞となりました。

「ウッドデザイン賞」は、林野庁の補助事業として2015年より実施され、今年で6回目になります。木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。これによって木のある豊かな暮らしが普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。



当社は、2016年度の三菱地所グループ社内新事業提案制度適用に基づき、2017年度に専門部署「CLTユニット」を組成しました。CLTを活用したプロジェクトの事業化に向けた検討を手始めに、工期短縮による建築コスト減と環境への貢献を両輪で実現する木材活用に向けた研究に取り組んでいます。



▲CLT PARK HARUMI



▲PARK WOOD office iwamotocho

当社では今後とも、CLTをはじめとした国産木材の活用を推進し、国内林業の活性化や山林防災、ひいては、地方創生等につなげていきたいと考えています。



▲表彰式にて
（右から2人目）三菱地所株式会社 関連事業推進室長 森下 喜隆
（左から2人目）株式会社三菱地所設計 建築設計二部長 清水 聡

■受賞の概要

【CLT PARK HARUMI】優秀賞（林野庁長官賞）（ライフスタイルデザイン部門）

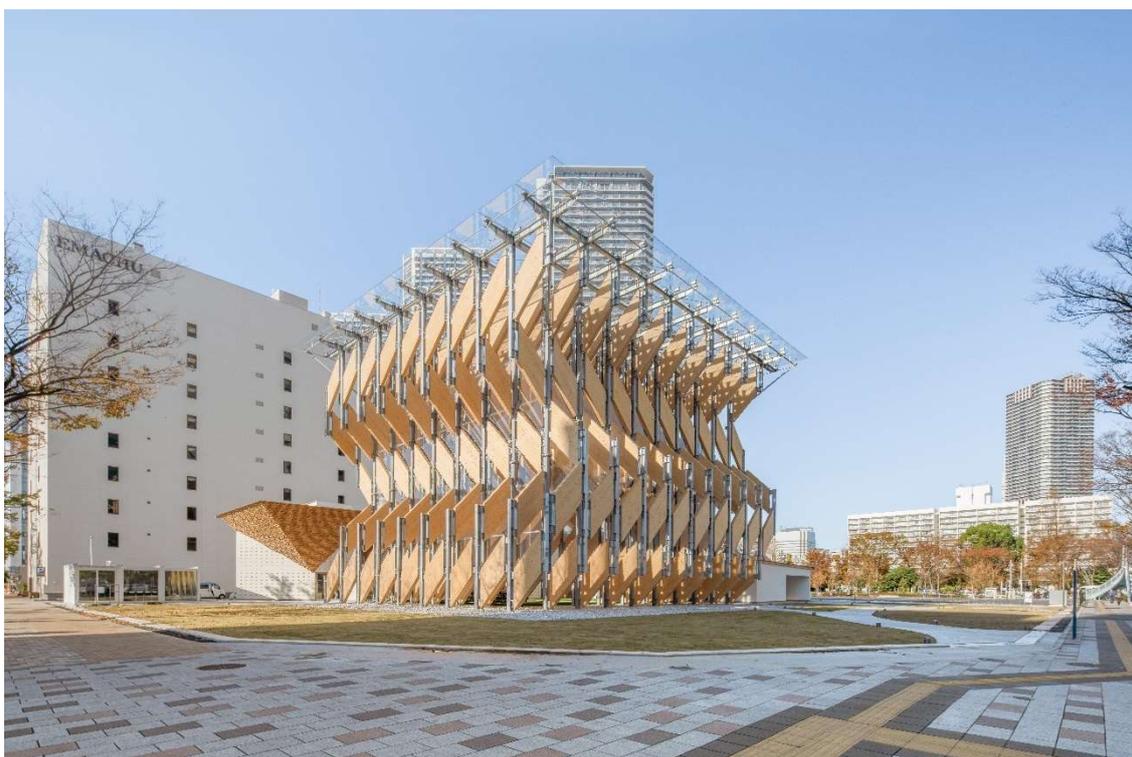
三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計、株式会社隈研吾建築都市設計事務所

<概要>

国産 CLT の魅力を国内外にアピールすることを主目的とした入場無料の展示施設です。鉄骨造との混構造によるパビリオン棟、パネル工法による屋内展示棟により、CLT を用いた多様な空間を実現しました。施設には、お子様向けのコンテンツも盛り込み、訪れた方が気楽に木のぬくもりを感じることができる場を創出しています。また、岡山県真庭市で製材された CLT を使用し、東京都・晴海で仮設建築物として活用後、真庭市に移築し、恒久的な建築物として再活用するという持続可能社会を実現し、地方創生へも繋がるモデルプロジェクトです。

<評価のポイント>

CLT のショーケースとして、子どもや来場者が木に触れその魅力を感じることができる空間。多様な工法による多様な空間、端材を使ったテーブルやスツールなど、随所に木を感じられる仕掛けを施している。地域材を活用し、都心で使用した後、解体移築し、また里帰りさせるという木造建築ならではの都市と地方を結ぶ循環型経済モデルとしても独創的な取組。



▲CLT PARK HARUMI パビリオン棟外観



▲CLT PARK HARUMI 屋内展示棟内観



▲Grow with Google ラーニングセンター

【PARK WOOD office iwamotocho】（ライフスタイルデザイン部門）

三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計

<概要>

国産材を用いた CLT を床構造材に採用した 8 階建てオフィスビルです（CLT を構造材とした 6 階以上の事務所建築は国内初）。高層非住宅建物における CLT 利用のモデルケースとして計画し、施工性・経済性を向上させる設計及び新仕様開発に取り組みました。外装には木ルーバーを使用し、密集市街地での視線制御と木材の積極的な利用を両立。内装においても積極的に木材を使用し、木のぬくもりを感じられるワークスペースを創出しました。



▲PARK WOOD office iwamotocho 外観



▲PARK WOOD office iwamotocho 内観



▲PARK WOOD office iwamotocho 外装木ルーバー

<参考> 当社の国産木材活用の取り組み

我が国において、国産木材の活用は、国内林業の活性化や山林防災、地方創生等、様々な観点で重要な課題の一つです。そのような中、昨今は CLT を中心として、建築における木材の利用・普及が注目されてきています。当社では、賃貸マンション、空港、オフィス、ホテルといった様々なアセットで CLT を活用するとともに、国産木材を活用する社会の実現を目的として、建築用木材の生産から流通、施工、販売といった川上から川下までの統合型ビジネスモデルを構築する新会社 MEC Industry 株式会社を設立しました。

■当社の CLT 活用プロジェクト

PARK WOOD 高森 賃貸マンション（宮城県仙台市）2019年2月竣工

ウッドデザイン賞 2019 最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞

- ・床と壁の約 220 m²に CLT を構造材として使用し、日本で初めて CLT を床材として利用した高層建築物。
- ・国土交通大臣認定を新たに取得した CLT 耐火床システム（2時間耐火仕様）を4~10階（地上10階建）の床に採用（本プロジェクトが国内初の適用）
- ・工場生産された CLT と鉄骨を組み合わせる乾式工法により鉄筋コンクリート造と比較して3ヵ月程度の工期短縮を実現

みやこ下地島空港ターミナル 空港（沖縄県宮古島市）2019年3月竣工

- ・沖縄県・下地島空港の旅客ターミナル施設において、空港ターミナルとして全国で初めて、屋根の構造材に CLT を採用
- ・CLT 材を現しで使用し、木目を生かしたデザインを実現

（仮称）大通西1丁目プロジェクト ホテル（北海道札幌市）2021年夏竣工予定

- ・札幌市中央区にて、北海道産木材を積極的に活用した国内初の高層ハイブリッド木造ホテル開発計画
- ・低中層部の天井を木質化した鉄筋コンクリート造、中層部の1層を鉄筋コンクリート・木造のハイブリッド造、高層部を純木造とするハイブリッド木造建築
- ・約 1,050 m³の木材を使用し、うち道産材を約 840 m³使用



▲PARK WOOD 高森



▲みやこ下地島空港ターミナル



▲（仮称）大通西1丁目プロジェクト

■MEC Industry 株式会社の設立

- ・三菱地所株式会社、株式会社竹中工務店、大豊建設株式会社、松尾建設株式会社、南国殖産株式会社、ケンテック株式会社、山佐木材株式会社といった様々な木材活用に取り組む企業7社の出資によって設立
- ・RC造・S造に木（もく）を取り入れた「新建材」の供給と、プレファブ化による戸建住宅等の供給
- ・従来分断されていた製造から販売までのビジネスフローを統合し、低コストかつユーザーニーズに合致した高品質な商品を提供

<長期経営計画2030で定めた「三菱地所グループのSDGs2030」>

三菱地所グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」「Resilience」の4つの重要テーマについて、より幅広いステークホルダーに、より深い価値を提供します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

